

<b>授業科目名</b>	キャリアスキルアップ (2000086)		
<b>時間割名</b>	キャリアスキルアップ (70234)		
<b>時間割担当</b>	石田秀朗		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	1 選択
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

「キャリアデザイン」「キャリアディベロップメント」及び「キャリアスキルアップ」で培った知識・技術、実践力及び汎用的能力を最大限に発揮して、保健医療分野で今後必要とされる課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトを、仲間と協働し、情報・コミュニケーション技術も活用しながら、PDCAサイクルに基づき、主体的に企画・実行・評価し、改善策を検討する。また、プロジェクトの概要や成果等について積極的に効率的に情報発信を行う。これにより、主体的思考力、コミュニケーション能力、マネジメント能力、創造力、構想力など、確かな汎用的能力を身につけ、プロジェクトを統合的観点でマネジメントする能力を培うとともに、将来のキャリアを補強するための確かな知識・技術と実践力、生涯学習能力、さらには社会的・職業的自立に必要な人間力及び社会人基礎力を確立する。授業は少人数のグループワークを中心に行い、成果についてはグループ単位で発表するなどし、受講者全員で共有する。複数の専任教員が担当し、適宜、各担当教員の専門性を生かして学生の主体的な学習を支援する。なお、本科目の受講は、「キャリアスキルアップ」の単位を修得していることを前提条件とする。

<キャリアスキルアップにおけるプロジェクトの例>

代替療法を活用した新たな療養生活や在宅生活の支援

疾病や障害をもつ人がQOLを高めるための支援

開発途上国における健康・生活支援

健康・生活支援に関する海外の先進的事例を日本向けに応用

### 学習の到達目標

1. 自分の将来のキャリアプランに関連し、保健医療分野で今後必要とされる課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトを、仲間と協働し、情報・コミュニケーション技術も活用しながら、PDCAサイクルを意識して主体的に企画・実行・評価し、改善策を検討する。また、プロジェクトの概要や成果等について積極的に効率的に情報発信を行う。

2. プロジェクトの企画・実行・評価・改善策の検討をとおして、主体的思考力、コミュニケーション能力、創造力、構想力など、確かな汎用的能力を身につけるとともに、プロジェクトを統合的観点でマネジメントする能力を培うとともに、将来のキャリアを補強するための確かな知識・技術と実践力、生涯学習能力、さらには社会的・職業的自立に必要な人間力及び社会人基礎力を確立する。

### 授業方法・形式

授業は基本的に少人数のゼミ形式で行い、適宜、情報・コミュニケーション技術を活用し、グループワークや合同ゼミなども取り入れる。各ゼミのプロジェクトの概要や成果等については、webサイト等を通して、広く積極的に効率的に情報発信を行うとともに、本授業の受講者とも共有し情報交換や意見交換を行う。

### 授業計画

第1回 オリエンテーション

第2～5回 実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトの企画

第6～10回 実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトの実行

第11～12回 実社会における課題解決型あるいは価値創造型のプロジェクトの評価

第13回 プロジェクトの概要や成果等のまとめ・改善策の検討

第14回 プロジェクトの概要や成果等のまとめ・改善策の検討 (webサイトによる情報発信)

第15回 プロジェクトの概要や成果等のまとめ・改善策の検討 (個人レポートの作成)

### 成績評価の基準

授業への取組(自己学習、積極的発言、発表など)50%、学習内容や成果のまとめ(web情報発信、個人レポート)50%

### 授業時間外の課題

受講学生が主体的に授業内容に関する課題を設定し、自己学習(復習・予習)を行う。

### メッセージ

授業では、主体的にプロジェクトに取り組んでいただきます。各担当教員は自身の専門性を生かして学生の主体的な学習を本気で支援します。実際の授業は担当教員ごと(ゼミ)に分かれて行います。具体的な学習テーマ、内容、日程等は担当教員により異なりますので、ガイダンスの際に周知します。

### 教材・教科書

特定のテキストは使用せず、授業内容に関する資料等を配付する。

### 参考書

参考図書、参考文献等については適宜、情報を提供する。